

回 覧

社協 大 橋 支 部 (住民アンケート特集号) 平成27年2月

皆様方には、日頃より当支部運営に関しましてご理解・ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

また、誰もが安心して生活できる地域づくりをするためにアンケートを実施し、この結果を下記のように取りまとめましたのでご報告致します。なお、ご協力いただきました世帯は、228世帯中204世帯で実に89.5%という状況でした。ありがとうございました。

この結果をもとに、少しでも安心して暮らせるような対策の検討と、支え合い・助け合いのシステム作りに役立てていきたいと思っておりますので、今後ともご協力の程よろしくお願い致します。

支部長 海藤 清治

【アンケート調査結果】

※ 各区分別アンケート回収率

行政区	配付数	回答数	率 (%)
28区	53	45	84.9
30区	24	20	83.3
31区	24	24	100.0
32区	25	24	96.0
33区	90	77	85.6
35区	12	12	100.0
※区不明	0	2	—
合 計	228	204	89.5

※ 区不明は、市役所笠間支所届け出分

問1. 男女別(区別)回答者数

行政区	男 性	女 性	未記入者数
28区	29	15	1
30区	8	12	0
31区	15	9	0
32区	10	9	5
33区	45	31	1
35区	8	4	0
※不 明	1	1	0
合 計	116	81	7
割合 (%)	56.9%	39.7%	3.4%

○ 男性が約60%、女性が約40%の方にアンケートに答えていただきました。

問2. 年代を教えてください。

年代	28区	30区	31区	32区	33区	35区	不 明	合 計
15~29	0	0	0	0	0	0	0	0
30~39	0	0	1	0	9	0	0	10
40~49	1	1	0	2	13	1	0	18
50~59	9	5	2	5	11	2	0	34
60~64	7	3	7	1	13	4	2	37
65~74	17	5	10	4	18	1	0	55
75~	10	6	4	8	11	4	0	43
未記入	1	0	0	4	2	0	0	7
合計	45	20	24	24	77	12	2	204

○ 64歳までの方99人、65歳以上の方98人とほぼ同数となりました。

問3. 家族構成について

	28区	30区	31区	32区	33区	35区	区不明	合計
一人暮らし	7	2	1	3	12	5	1	31
夫婦のみ	10	2	4	3	21	1	0	41
二世帯	14	8	9	12	30	6	1	80
三世帯	12	4	7	0	9	0	0	32
兄弟姉妹	0	1	1	0	1	0	2	5
昼間独居	0	4	2	2	2	0	0	10
未記入	2	0	0	4	4	0	0	10
合計	45	21	24	24	79	12	4	209

- 親子の世帯(二世帯・三世帯)が53.6%占めているが、特に親子(二世帯)の比率が約40%を占めております。今後も夫婦のみ世帯から高齢の一人暮らしの世帯に徐々に移行していく状況から、助け合いや活動の場を設けていくことが重要になってきます。

問4. 近くに住む同居外家族や親族の状況

	28区	30区	31区	32区	33区	35区	区不明	合計
大橋地区	16	9	10	4	22	1	0	62
笠間市内	20	13	9	10	36	7	2	97
近隣市町村	12	7	6	4	23	4	0	56
茨城県内	16	13	9	10	25	6	1	80
県外	13	7	5	5	18	4	0	52
未記入	0	0	0	4	1	0	0	5
合計	77	49	39	37	125	22	3	352

- 大橋及び笠間市内に家族、親族が住んでいる方が45.1%と、約半数の方が身近な地域に家族、親族がいることがわかりました。また、隣接市町村以遠に家族、親族がいる世帯も53.4%と、「遠くの親戚より近くの他人(向こう三軒両隣)」の関係づくりが必要です。

問5. 家族の状況(介護中や障がいのある方がいる世帯の有無)

	28区	30区	31区	32区	33区	35区	区不明	合計
在宅介護中	2	3	2	3	5	2	0	17
施設介護中	2	3	2	0	8	0	0	15
何らかの障がい有	4	4	4	1	7	0	0	20
介護中や障がい者無	33	8	14	15	51	9	0	130
未記入	4	2	2	5	6	1	2	22
合計	45	20	24	24	77	12	2	204

- 現状では介護や障がいのある方がおられる世帯は少ないが、高齢化の進展に伴い介護を必要とする方が増えてくることが予想されますので、日頃から地域での支え合い、助け合いの意識の向上を図る必要性があります。

問6. 隣近所、班内でのつきあいの程度

	28区	30区	31区	32区	33区	35区	区不明	合計
隣近所で行き来	21	5	11	10	30	7	0	84
世間話や立話	15	7	5	5	25	5	0	62
あいさつ程度	11	7	9	8	23	1	2	61
つきあい無し	0	1	0	0	2	0	0	3
未記入	0	2	0	4	2	0	0	8
合計	47	22	25	27	82	13	2	218

- 約40%の方が隣近所の方と行き来しており、世間話や立話を含めると約67%と近所づきあいが多いたことが判明しましたが、更に暖かみのあるコミュニティづくりをすすめます。

問7. これからの隣近所、班での人間関係について

	28区	30区	31区	32区	33区	35区	区不明	合計
もっと親しくなれる関係	11	4	6	2	15	0	0	38
助け合える関係	25	10	11	12	49	11	1	119
あいさつや立ち話程度	9	7	6	7	16	1	1	47
お互いが干渉しない関係	2	1	0	1	1	0	0	5
未記入	2	0	1	5	2	0	0	10
合計	49	22	24	27	83	12	2	219

- 身近に高齢者の方が増えていることや自分が高齢になったことを考えると、隣近所や班内でお互いが助け合える関係でありたいと願う人が約72%と多い。この想いを一人ひとりが行動に移せるような地域づくりをすすめます。

問8. 日常生活で困っていること、また今後困るであろうという問題

	28区	30区	31区	32区	33区	35区	区不明	合計
体の自由が利かない	10	8	7	6	15	9	1	56
認知症の問題	9	10	7	9	20	5	0	60
生活困窮等経済的問題	6	8	4	3	6	1	0	28
育児や子供の健全育成	3	2	3	2	11	2	0	23
高齢者日常生活	12	10	9	7	25	7	0	70
介護の問題	16	12	9	12	27	7	0	83
隣近所の人間関係	3	4	4	0	8	0	0	19
未記入	12	1	4	7	19	3	1	47
合計	71	55	47	46	131	34	2	386

- 困っている。今後困るであろう問題の順位は、介護問題、日常生活の問題、認知症の問題となっています。今後の支部事業として実施できるものから取り組んでいく必要があります。

問9. 大橋支部内にどのような手助け・お手伝いがあれば良いか。

	28区	30区	31区	32区	33区	35区	区不明	合計
買物やゴミ出し	11	2	4	1	9	4	1	32
外出時の送迎	17	10	13	7	20	6	0	73
外出時の付添い介助	1	1	6	2	5	1	0	16
日曜大工的な小補修	2	0	2	1	7	0	0	12
食事づくりや掃除等	1	3	5	4	6	2	0	21
突発時の子供の預り	2	0	2	1	8	0	0	13
話し相手や相談相手	7	7	2	9	13	2	1	41
声掛け等安否確認	15	7	5	10	30	6	0	73
庭の草取り等手伝い	4	3	5	2	7	2	0	23
未記入	13	4	4	7	24	4	1	57
合計	73	37	48	44	129	27	3	361

- 高齢になった時には自分の力だけでは、対応できなくなる誰もが通る道。この道を通りやすくするために地域のみんなで支え合えることになれば、ここで暮らしていけるようになると考えます。

問10. 隣近所、班、支部内の中での助け合いに対する協力について

	28区	30区	31区	32区	33区	35区	区不明	合計
明日は我が身	22	7	12	10	31	7	1	90
都合がつけば協力	22	16	11	12	46	5	1	113
手助けが必要な身	3	1	1	3	0	1	0	9
あまり協力出来ない	3	2	2	1	6	1	0	15
行政の役目	1	2	0	1	2	0	0	6
家庭の問題	1	2	0	0	0	0	0	3
未記入	8	1	3	6	15	3	1	37
合計	60	31	29	33	100	17	3	273

- 出来る限りと都合がつけばを含め63.3%、また協力できないという回答も15.1%という結果になりましたが、皆が安心できる結果であったと言えます。
- 皆が協力し合えることで信頼感も生まれ、この地に住んで良かったと言えるようになるのではないのでしょうか。

問11. 支部内にどのような活動の場があればいいと思いますか。

	28区	30区	31区	32区	33区	35区	区不明	合計
自分に合った地域貢献活動の場	10	6	7	8	19	4	0	54
子供との交流・見守りの場	2	0	1	3	8	2	0	16
元気であるための健康づくり介護予防の場	11	9	9	8	22	5	1	65
自分を高める生涯学習の場	8	1	3	3	15	0	0	30
みんなが楽しめるシルバークラブ活動	6	6	4	6	15	3	1	41
みんなが気軽に楽しめるふれあいの場	16	6	12	11	28	5	1	77
悩みごとや心配ごと相談の場	2	3	3	5	9	3	0	25
未記入	12	2	5	7	17	4	1	48
合計	67	33	44	51	131	26	4	356

- 元気で生きていくためには、身近な場所に自分にあった交流の場、活動の場があれば生活に刺激と潤いができてきます。健康づくり、介護予防の場を望む方が多いようです。多くの方が参加できる場をつくる必要があるのではないのでしょうか。

問12. どのようなボランティア活動に参加できると思いますか。

	28区	30区	31区	32区	33区	35区	区不明	合計
高齢者への声かけ・見守り活動	18	4	10	9	24	4	1	70
高齢者等の外出介助	3	2	2	0	3	1	0	11
防犯パトロール	8	3	8	6	17	4	0	46
子どもと遊ぶ・子育てサロン	0	1	2	0	6	1	0	10
電話による声かけ・安否確認	7	6	2	3	8	4	0	30
家事援助	0	0	0	1	4	1	1	7
相談相手	1	2	2	2	8	1	0	16
高齢者サロン	3	1	1	1	2	1	0	9
福祉イベントの手伝い	5	1	5	2	5	2	0	20
災害時の手伝い	16	8	12	8	33	8	0	85
地域活動に興味ない	2	2	2	1	4	0	0	11
未記入	5	5	1	9	9	2	0	31
合計	68	35	47	42	123	29	2	346

- 地域活動に興味ないと不明の方が合わせて12%と残り88%の方がボランティア活動に関心があることがわかりました。アンケートをもとに具体的なボランティア活動を推進いたします。

問13. 日常生活の買い物について

1. 食料品や日用品は、どのように調達していますか。

	28区	30区	31区	32区	33区	35区	区不明	合計
自分	35	17	18	15	61	6	2	154
家族・親戚	10	6	7	7	17	7	0	54
隣近所の方	0	0	0	0	0	1	0	1
その他	0	1	2	0	3	0	0	6
未記入	1	0	0	5	3	0	0	9
合計	46	24	27	27	84	14	2	224

○ 自分で買い物をする方が約69%と高い割合となっています。次に約24%の方が家族・親戚の方となり、実に93%の方が自分または家族により買い物をしている実態が明らかになりました。車社会の生活がうかがわれますが、今後高齢化に伴い運転免許の返還等により買い物に支障をきたす方の増加が予想されます。

2. 今後、買い物にどのような支援が必要と思いますか。(全区)

移動販売車等	・・・	30人	通販	・・・	1人
バス(定期バス)	・・・	2人	宅配	・・・	7人
デマンド利用	・・・	1人	買物支援、病院送迎制度の新設		2人
ネットスーパー	・・・	2人	スーパーで配達		1人
店までの送迎	・・・	9人	生協	・・・	3人
買い物代行	・・・	1人	隣近所で一緒に買い物		2人
公的交通等	・・・	1人			

※ その他のアンケートに記載してあった意見

- 1) ひとり暮らしでなくても高齢者は孤独である。高齢者のふれあいの場を確保
- 2) 回覧、チラシが多い。無駄使い。
- 3) 大橋に介護施設があれば良い。
- 4) 東小跡地利用—介護施設がよい。
- 5) 土日の交通手段を確保して欲しい。
- 6) 早急に健康を維持する体力アップと環境を整える。
- 7) 買物支援は、先進地を参考にする。
- 8) 次世代、地域の絆が遠く恐れあり。
- 9) 人間関係をもっと大切にできるようになれば良い。
- 10) 交通事故対策を考える。